

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社エコノス 上場取引所 札
 コード番号 3136 URL http://www.eco-nos.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)新行内 宏之 (TEL) 011(875)1996
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,917	△2.9	△43	—	△86	—	△86	—
28年3月期第3四半期	3,005	△0.1	21	△74.0	△28	—	△19	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △97百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△100.50	—
28年3月期第3四半期	△25.14	—

(注) 平成28年3月期第3四半期及び平成29年3月期第3四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,919	442	15.0
28年3月期	3,070	539	17.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 438百万円 28年3月期 525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,998	△4.4	29	△77.1	△28	—	△49	—	△57.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	859,398株	28年3月期	859,398株
29年3月期3Q	139株	28年3月期	139株
29年3月期3Q	859,259株	28年3月期3Q	757,815株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善とともに緩やかな回復の傾向がみられるものの、英国の欧州連合（EU）離脱問題や米国の大統領選挙の影響等により、為替相場や株式相場が乱高下する等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのリユース事業におきましては、大雪や強風による天候不順等により年度当初の計画に比べ売上高が伸び悩みました。また、低炭素事業におきましては、国内でのカーボン・オフセット・コンサルティング案件の獲得及び海外での調査事業案件の獲得が計画を大きく下回って推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,917,492千円（前年同四半期比2.9%減）、営業損失43,519千円（前年同四半期は21,180千円の営業利益）、経常損失86,416千円（前年同四半期は28,690千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失86,359千円（前年同四半期は19,052千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりです。

(リユース事業)

リユース事業においては、平成27年12月に新規オープンいたしましたオフハウス手稲前田店及び3R事業がリユース事業全体の売上高に貢献した一方、大雪や強風による天候不順等により顧客の出足が鈍り、その影響から売上高が計画を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,798,313千円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は257,412千円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は次表のとおりであります。

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	13	16	15	1	45	62

(注)ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

(低炭素事業)

カーボン・オフセット・プロバイダー事業においては、新規のカーボン・オフセット・サービスのコンサルティング案件の獲得に向けての取組みを進めましたが、年度当初の獲得計画を大きく下回って推移しております。

当事業については、年度上期に受注して年度の終わり頃に完了する契約が多く、売上計上までは経費が先行いたします。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は111,620千円（前年同四半期比56.3%減）、セグメント損失は110,846千円（前年同四半期はセグメント損失80,735千円）となりました。

(その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とリペア事業を含んでおりません。

当社グループは第2四半期連結会計期間において、iCracked Japan株式会社とパートナー契約を締結し、新規事業としてiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を開始しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,558千円（前年同四半期比229.6%増）、セグメント損失は5,284千円（前年同四半期はセグメント利益193千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,458,818千円となり、前連結会計年度末と比べて139,571千円の減少となりました。これは、主にたな卸資産の増加71,330千円、現金及び預金の減少88,125千円、受取手形及び売掛金の減少120,216千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は1,460,562千円となり、前連結会計年度末と比べて11,316千円の減少となりました。これは、主に投資有価証券の増加30,220千円、リース資産の減少34,077千円、工具、器具及び備品の減少20,455千円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、950,695千円となり、前連結会計年度末と比べて153,362千円の減少となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の増加64,352千円、短期借入金の減少144,000千円、未払金の減少43,852千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,526,416千円となり、前連結会計年度末と比べて99,486千円の増加となりました。これは、主に長期借入金の増加122,922千円、リース債務の減少24,410千円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、442,269千円となり、前連結会計年度末と比べて97,012千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失86,359千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年11月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	622,562	534,436
受取手形及び売掛金	204,576	84,360
たな卸資産	673,602	744,933
前払費用	57,370	53,123
繰延税金資産	25,687	12,950
その他	14,590	29,014
流動資産合計	1,598,389	1,458,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,516	156,751
工具、器具及び備品(純額)	183,027	162,571
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	613,777	579,699
その他(純額)	3,681	3,334
有形固定資産合計	1,070,486	1,017,840
無形固定資産		
その他	4,194	3,577
無形固定資産合計	4,194	3,577
投資その他の資産		
投資有価証券	31,306	61,526
敷金	304,101	309,724
繰延税金資産	3,134	10,237
その他	58,655	57,656
投資その他の資産合計	397,198	439,145
固定資産合計	1,471,879	1,460,562
資産合計	3,070,269	2,919,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,580	22,130
短期借入金	614,000	470,000
1年内償還予定の社債	16,600	16,600
1年内返済予定の長期借入金	171,624	235,976
リース債務	33,073	32,879
未払金	116,499	72,646
未払費用	67,269	67,069
未払法人税等	28,387	—
未払消費税等	29,826	17,274
賞与引当金	—	4,569
ポイント引当金	3,719	4,841
その他	6,479	6,709
流動負債合計	1,104,057	950,695
固定負債		
社債	108,500	100,200
長期借入金	467,392	590,314
リース債務	684,115	659,704
長期末払金	50,910	47,742
長期前受収益	5,656	4,246
退職給付に係る負債	47,943	57,262
資産除去債務	61,570	65,351
その他	840	1,594
固定負債合計	1,426,929	1,526,416
負債合計	2,530,987	2,477,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,813	210,813
資本剰余金	159,140	159,140
利益剰余金	151,315	64,955
自己株式	△69	△69
株主資本合計	521,199	434,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,627	5,093
為替換算調整勘定	△824	△1,266
その他の包括利益累計額合計	3,802	3,827
非支配株主持分	14,279	3,602
純資産合計	539,281	442,269
負債純資産合計	3,070,269	2,919,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,005,756	2,917,492
売上原価	1,065,271	1,020,131
売上総利益	1,940,484	1,897,360
販売費及び一般管理費	1,919,304	1,940,880
営業利益又は営業損失(△)	21,180	△43,519
営業外収益		
受取配当金	1,264	1,272
受取手数料	7,286	7,021
協賛金収入	4,762	1,305
受取保険金	5,000	—
その他	10,218	5,358
営業外収益合計	28,532	14,957
営業外費用		
支払利息	61,577	56,532
株式交付費	2,713	—
株式公開費用	8,718	—
その他	5,393	1,321
営業外費用合計	78,402	57,854
経常損失(△)	△28,690	△86,416
特別損失		
固定資産除却損	—	706
特別損失合計	—	706
税金等調整前四半期純損失(△)	△28,690	△87,123
法人税、住民税及び事業税	18,774	2,965
法人税等調整額	△24,344	6,948
法人税等合計	△5,570	9,913
四半期純損失(△)	△23,119	△97,036
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,067	△10,676
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,052	△86,359

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△23,119	△97,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	466
為替換算調整勘定	△783	△442
その他の包括利益合計	△1,192	24
四半期包括利益	△24,312	△97,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,244	△86,335
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,067	△10,676

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年6月23日付にて、公募による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ27,600千円増加しております。また、平成27年7月16日付でオーバーアロットメントによる売出しに関連して、岡三証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,624千円増加しております。さらに第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間において新株予約権の行使による払込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,932千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が206,412千円、資本剰余金が154,739千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,747,958	255,504	3,003,463	2,292	3,005,756	—	3,005,756
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,747,958	255,504	3,003,463	2,292	3,005,756	—	3,005,756
セグメント利益 又は損失(△)	295,870	△80,735	215,135	193	215,328	△194,147	21,180

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△194,147千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,798,313	111,620	2,909,934	7,558	2,917,492	—	2,917,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,798,313	111,620	2,909,934	7,558	2,917,492	—	2,917,492
セグメント利益 又は損失(△)	257,412	△110,846	146,566	△5,284	141,281	△184,801	△43,519

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△184,801千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。